

2019年度

エンドオブライフにむけた 意思表示プロセスを支援する実践セミナー in 大阪

【ベーシックレベル・ファーストレベル】

エンドオブライフケアにおける意思表示支援とは何かを学び
多様な場における相談支援のあり方を再考しながら
それぞれの臨床の場や役割に応じて現状と課題について語り合しましょう！
今回は、梅花女子大学とエンドオブライフケア学会との共催です。

会場	1日目 ベーシックレベル	2日目 ファーストレベル	申込み締め切り
グランフロント大阪北館2階 ナレッジキャピタル The Lab. みんなで世界一研究所内	2020年 3月20日(金・祝日)	2020年 3月21日(土)	2020年 3月6日(金)

グランフロント大阪北館2階 ナレッジキャピタル The Lab. みんなで世界一研究所内
<https://kc-i.jp/facilities/the-lab/active-studio/>

対 象 : 意思表示支援に関心のある医師、看護師、保健師、助産師、
薬剤師、栄養士、介護職、社会福祉士、理学療法士、作業療法士、
ケアマネジャーなどの専門職

参加費 : 学会員 3,500 円 / 日 非会員 7,000 円 / 日
学生会員 2,000 円 / 日 学生非会員 3,500 円 / 日

- ◆ 本年度は、ベーシックレベル、ファーストレベルを同日程で開催することになりました。
- ◆ 1日目のみの受講も可能です。今年度のセミナーは関東地区での開催も企画しています。
開催地は変わりますが、今年度開催される会場でも受講することが可能です。
- ◆ 職場の同僚、上司、チームメンバーなど皆様、お誘いあわせの上、ご参加ください。
- ◆ 昼食は各自で用意ください。

申し込みは日本エンドオブライフケア学会ホームページで受付しております。
※各回とも 40 名の定員になり次第締め切ります。
ホームページ <http://endoflifecare.jp/>

お問い合わせ

〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学 看護学部 長江研究室
日本エンドオブライフケア学会 意思表示プロセスセミナー事務局
E-mail : jseolc2018desk@gmail.com



エンドオブライフにむけた 意思表示プロセスを支援する実践セミナー

1日目(ベーシックレベル)「自分らしく生きる」を哲学する

- ① エンドオブライフケアを必要とする背景、およびその概念について理解する
- ② 対話の体験を通して、話すことの意味、聴くことの意味について考えることができる
- ③ 対話の体験を通して、ケアの対象者の気持ちを考えることができる
- ④ 対話の対象者のケアに繋がることに気づく

2日目(ファーストレベル) エンドオブライフケアにおける意思表示プロセスの考え方を学ぶ

- ① エンドオブライフケアにおける意思決定支援とACPの概念、および意思表示プロセスの位置づけを理解する
- ② 意思表示プロセスを支援する実践モデルを活用し、意思表示を支える働きかけの考え方を学ぶ

予定プログラム

1 日 目	10:00-12:00	講義: ①エンドオブライフケアとは ②自分らしく生きるとは ③人間にとって「語る」意味とは 個人ワーク: 自分らしく生きるとは
	12:00-13:00	昼食
	13:00-16:00	グループワーク・発表、講義
2 日 目	10:00-12:00	講義: ①エンドオブライフケアにおける意思表示支援、 ②自分にとってのACPとは、③意思決定支援の3本柱、等 個人ワーク: 意思表示支援事例の展開
	12:00-13:00	昼食
	13:00-16:00	グループワーク・発表

一部変更することがありますことをご了承ください。

【講師を担当する委員会組織】

エンドオブライフに向けた意思表示プロセスの実践・教育・研究委員会

梅花女子大学の乗越教授はじめ委員会組織の講師がセミナーを担当させていただきます。

長江 弘子 東京女子医科大学 教授

足立 智孝 亀田医療大学 教授

西川 満則 国立長寿医療研究センター
緩和ケア診療部

片山 陽子 香川県立保健医療大学 教授

伊藤 真理 川崎医科大学総合医療センター
急性・重症患者看護専門看護師

坂井 志麻 杏林大学 教授

大桃 美穂 町田市市民病院 看護師

藤田 愛 北須磨訪問看護・リハビリセンター所長
慢性疾患看護専門看護師

原沢 のぞみ 東京女子医科大学 准教授

岩崎 孝子 東京女子医科大学 助教

酒井 昌子 聖隷クリストファー大学 教授

乗越 千枝 梅花女子大学 教授

高 紋子 東京女子医科大学 講師

加藤 裕規 京都大学大学院医学系研究科
博士課程